

アパレル設計～パターンメイキング（型紙製作）：

生産に向けたパターン作成

職務遂行のための基準

（マスターパターンの確定（補正））

- サンプルチェックを経て展示会で注文を受け、量産が決定されたパターンについて、実際にサンプルをモデルに着用してもらった際の他部門からの意見やモデルの着心地の意見も参考に、他のパターンメーカーやデザイナーの指導を受けて、補正すべき部分を確実に補正している。
- 確定したパターンに対して、他のパターンメーカーやデザイナーの指導を受けつつ縫い代を付けて工業生産向けのパターンとして完成させている。
- 生地ロット毎の伸縮テストデータをもとに、それぞれについてパターン作成の必要があるかを判断し、上司やチーフの指示を仰いでいる。
- 表地パターンに合わせて、上司やチーフの指示の指導を受けつつ裏地の生地特性や着心地に配慮した裏地パターンを作成している。

（マスターパターンに基づくグレーディング及びマーキング）

- グレーディングに必要な人体工学的な知識及びグレーディングピッチに関する基礎知識をもち、デザインに応じてピッチ配分を決めたうえで、基本サイズ（9号）を基にして、そのグレーディングの原点からパターンの角の位置を合わせて写しながら、7，11，13号へと基本的なサイズ展開を行っている。
- マーキング用コンピュータを用いてマーキングを行い、基本的な布目等に配慮したパターンの配置を行っている。

（量産縫製仕様書確定）

- サンプル縫製仕様書を基に、見頃、えり、そで、スカートなど単一またはいくつかの担当アイテムについて、量産のための最終的な縫製仕様書をモレのないよう作成し、さらに注意すべき事項を書き込み、スムーズに量産に移れるよう配慮している。
- 生産現場からの問い合わせには、迅速・丁寧・具体的に説明を行い、必要に応じて、上長の判断を仰いでいる。

最終確認

- 生産現場からあがってくる見本の担当アイテムについて、仕様書通りに縫製されているかを確認し、指摘事項があれば、写真やメモを沿えて具体的な修正指示を生産現場に対して行っている。
- 修正指示を出した見本チェックの際には、指摘した事項が修正されているかを確認している。

●必要な知識

1. 婦人子供服の種類に関する知識
2. 着装に関する知識

3. 繊維の種類、特徴及び用途に関する知識
4. 織物の種類、組織、用途及び加工方法に関する知識
5. 編地及び不織布の種類及び用途
6. 縫糸の種類及び用途に関する知識
7. 附属材料の種類及び用途に関する知識
8. 色彩の用語、流行に関する知識
9. 安全衛生に関する知識
10. 婦人子供服商品アイテムの特徴に関する知識
11. 製造工程に関する知識
12. 人体の構造、体形に関する知識
13. デザイン技法に関する知識
14. パターンメイキングに関する知識 ・ スローパーの製作（ドレーピング、ドライティング） ・
 デザインパターンの製作 ・ 工業用パターンの製作 ・ グレーディング
15. 作業指示書に関する知識
16. マーキング方法に関する知識（配置、地の目、柄、所要量の見積）
17. 縫製の方法に関する知識
18. 製品検査に関する知識
19. アパレル用コンピュータの種類、用途及び使用方法に関する知識（パターンメイキング、グレーディング、マーキング、カッティング、グラフィック、パターンシーマー）
20. 製造に使用する機械及び器工具の種類及び使用方法（延反機、裁ちほうちょう、丸刃式裁断機、縦刃式裁断機、バンドナイフ式裁断機、ダイカット、自動裁断機、その他の器工具、工業用ミシン、アイロン、バキューム台、製図用具）
21. 婦人子供既製服に関する日本工業規格に関する知識
22. 家庭用品品質表示法に関する知識